

石合ゆうたを応援する会
ゆうゆう通信第11号

上田市議会議員 ^{いしあひ}石合ゆうた市政報告です。

台風19号に伴う被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復旧に力を尽くします。

令和元年度上田市議会9月定例会は条例案で、法改正による会計年度任用職員制度について、市に勤務する臨時・非常勤職員の待遇改善のため、フルタイム、パートタイムの会計年度任用職員の新たな給与体系などを定め、来年4月から施行することを決めました。



子どもさんの元気いっばいな姿に成長の速さを感じ嬉しくなります。



適度の運動と食生活の注意で健康寿命を伸ばしましょう！



上田市公文書館開館式。身近な地域の歴史に貴重な資料を通じて、触れることができる公文書館です。ご活用ください。



台風の爪痕が各地に傷跡を残しました。防災減災の推進を！

30年度決算（一般・特別会計総額1030・6億円、黒字決算）について提出された監査委員の審査意見書では、このままでいけば「財政の硬直化が心配」であり、使用料や手数料など経常的な収入減があることから、経常的経費の削減が重要だと指摘を受けています。具体的には、市の公共施設の管理を早期に見直すことが望まれ、また拡大を続ける市事業の整理も求められています。

人口減少、税収減の時代に必要な住民サービスを確保しつつ、どう整理をつけるかは自治体が抱える大きな課題です。

（討議資料）

国の「子ども・子育て支援法」改正に伴い、10月1日からの幼児教育・保育無償化に関連した議案も議決しました。

保育の質の向上と保育士の処遇改善が求められます。

また、7月と8月の災害による農業用施設や林道、学校施設などの復旧費として5000万円余を議決しました。

住民ニーズの多様化、気候変動など新たな課題も出てきていますが、「持続可能な自治体」としてのあり方を考え続けていく必要があります。

一般質問

今回は、聴覚障がい者支援と市長公約の手話言語条例の制定と会計年度任用職員制度について質問しました。

（石合） 手話通訳者確保のためにはどのような施策に取り組んでいますか。

答（福祉部長）市では平成13年度から手話奉仕員養成講座を実施し、平成30年度までの修了者数は192人です。また、講座修了者を対象に、上田市手話奉仕員レベルアップ講座を実施しており、平成30年度までの修了者は56人です。

（石合） 市長公約の手話言語条例の内容と制定目標時期はどうでしょうか。

答（福祉部長）条例の目的は障がいのある方もない方も互いに認め合い、手話やその他のコミュニケーション手段の普及や理解を深め、互いに支え合うまちづくりを推進するためです。内容の検討のため、障がい者団体と懇談会を開き、意見を頂戴し、調査研究しています。手話だけでなく、視覚障がい者の意思疎通手段の確保も考え、国、県の動向を注視しながら、2020年度の施行を目指しています。



発行：石合ゆうたを応援する会

発行責任者：中村喜嗣郎

電話：0268-23-3482

FAX：0268-55-3561

メール：ishiai.yuta.2015@gmail.com

会計年度任用職員制度について

(石合)フルタイム会計年度任用職員への移行により必要となる処遇改善に係る財源確保について、状況はどうでしょうか。制度移行までに十分な措置が示されない場合、一般財源で対応する考えで臨むものでしょうか。また、その場合の市の新たな負担額としてはどの程度を見込むものでしょうか。

答 (総務部長) 現在のところ、この制度の導入に係るシステム改修費について普通交付税措置を講ずるとされているが、期末手当等の支給に伴う処遇改善に必要な財政措置については、いまだ国から具体的な情報がない状況です。

しかしながら、国からは今年4月に制度導入前と後における所要額の調査があり、この調査結果を財政措置を定めるための重要な資料とするとされていることから、現在国において必要な財政措置に向け検討を行っているものと認識をしています。

場合によっては一般財源によって対応せざるを得ない場合もあると考えています。

制度の導入に伴う所要額は、現在任用されている非常勤職員がそのまま任用された場合、おおむね3億円から4億円程度を見込んでいます。適正な人員配置に努め、簡素で効率的な行政体制につつまして引き続き取り組んでいきたいと考えます。

視察・研修報告(視察・研修報告は石合ゆうたホームページに掲載しています。学びを市政に活かしてまいります)

- ◆島根県松江市・・・子育て環境日本一の実現に向けた取り組み(7月16日)
- ◆京都府福知山市・・・福知山公立大学(7月17日)
- ◆京都府亀岡市・・・亀岡市立地適正化計画(7月18日)
- ◆SDGs学習会(長野県塩尻市)・・・SDGs(持続可能な開発目標)基礎講座(7月23日)
- ◆長野県地方自治研究集会(長野県塩尻市)・・・人生100年時代、SDGs時代に求められる県と市町村の役割とは～長野県2040に向けて～、分科会「子どもの貧困の現状と課題」(7月24日)
- ◆生活保護問題研修会(新潟県新潟市)・・・生活保護の現状と改革の論点～地方は何かができるか、ミニシンポ「地方から生活保護行政は変えられる」など(8月23日、24日)

【 近 況 報 告 】

【7月】

- 7月1日 6月定例会閉会日
- 3日 神科自治会市政報告会、国道18号上田バイパス第二期工区建設促進期成同盟会
- 5日 未来のミライ展オープニングセレモニー、強くてしなやかな上田の作り方講座
- 7日 上小消防ポンプ操法、ラッパ吹奏大会(東御市)
- 8日 総務文教委員会視察(埼玉県戸田市)
- 9日 総務文教委員会視察(静岡県袋井市)
- 10日 総務文教委員会視察(兵庫県明石市)
- 12日 蛇沢自治会、大久保自治会陳情県議要望
- 16日 行政視察(島根県松江市)
- 17日 行政視察(京都府福知山市)
- 18日 行政視察(京都府亀岡市)
- 23日 SDGs学習会(塩尻市)
- 24日 長野県地方自治研究集会(塩尻市)
- 26日 私鉄県連協力議員団会議(長野市)
- 29日 - 31日 上野が丘公民館わいわい塾お手伝い

【8月】

- 1日 政策研究センターに係る講演会
- 2日 上小地区反核・平和の火リレー
- 3日 そめや祭り、金井自治会夏祭り
- 5日 上田・真田連絡道路改良促進期成同盟会、主要地方道小諸上田線改良促進期成同盟会総会
- 8日 神科地区自治会連合会と地元議員懇談
- 10日 上田市平和祈念事業
- 15日 平和の鐘行動、大久保自治会夏祭り
- 18日 神科ソフトボールリーグ40周年記念式典、駅伝ソフト大会
- 19日 政策討論会担当者会(傍聴)、木質バイオマス発電学習会
- 20日 地元交差点危険箇所点検、林活議連県総会
- 22日 大久保自治会内災害対策見回り
- 23日 - 24日 生活保護問題全国研修会(新潟県新潟市)、木質バイオマス発電チェック市民会議
- 26日 上田市名誉市民称号贈呈式
- 29日 上田市公文書館開館式

【9月】

- 2日 9月定例会開会
- 7日 山城サミット盛り上げ隊健康づくりトレーニング、上小地区教育研究集会、自然エネルギー上小ネット学習会、消防団応急手当普及員会議
- 8日 神科社会福祉協議会住民大会
- 9日 - 11日 市議会一般質問
- 12日 上野が丘公民館はつらつかレッジ
- 13日 市議会総務文教委員会、一般会計決算特別委員会総務文教分科会審査(財政部、総務部)
- 15日 上田北幼稚園運動会、金井自治会敬老会、上田城流鏑馬大会
- 17日 市議会総務文教委員会、一般会計決算特別委員会総務文教分科会審査(政策企画部、教育委員会)
- 20日 市議会総務文教委員会協議会、人権を考える上野が丘のつどい
- 22日 丸子あさつゆえだまめの会お手伝い、不登校理と支援のための講座
- 26日 農政議連総会、観光議連研修会
- 27日 砥石・米山城まつり修祓入魂、実行委員会
- 28日 神科第一保育園運動会
- 29日 上田地球を楽しむ会戌の満水講演会
- 30日 一般会計決算特別委員会全体会、政策討論会

【編集後記】

台風19号に伴う被害を生じられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

情報伝達のあり方、ハザードマップや防災計画の見直し、免許証返納者の避難の手段、内水氾濫への備え、など課題も浮き彫りになりました。

災害は必ずやってくるということを意識し、地域防災力を支える地域コミュニティの強化も進めていく必要があります。

今回の災害について、お気づきの点がありましたらどうぞお聞かせください。

別所線鉄橋の崩落など甚大な被害が生じた災害からの生活再建、今後の災害対策を万全なものにしていくこと、命をまもる上田市としての取り組みもますます重要になってきます。